

# J.LEAGUE news

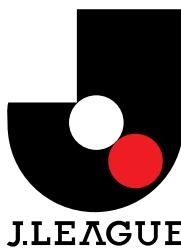
Official News Letter

vol. 105

18.Jun.2004

Amazing, J.

J.LEAGUE



編集・発行  
社団法人日本プロサッカーリーグ

スポーツで、もっと、幸せな国へ。Jリーグ百年構想



© J.LEAGUE PHOTOS

昨年の試合から



© J.LEAGUE PHOTOS



過去最多!  
開催1ヶ月前で180万票を突破

JOMOオールスター サッカー、  
サポーター投票

Jリーグは6月3日、JOMOオールスター サッカーのサポーター投票の中間発表を行った。

今年は例年より1ヶ月早い開催となるが、アテネ五輪などを控えていることもあってかサポーター投票も過熱し、186万票を突破、昨年を大きく上回る過去最多の投票数となっている。

6月3日現在の最高得票選手は、J-EASTがジェフユナイテッド市原の阿部勇樹選手、J-WESTはガンバ大阪の宮本恒靖選手で、こちらも過去最多を更新した。今年の特徴としては、阿部をはじめ、田中マルクス闘莉王(浦和)、田中達也(浦和)、大久保嘉人(C大阪)、森崎浩司(広島)、根本裕一(大分)ら、オリンピック世代の選手の台頭が目立った。もちろん、本大会の開催地となる地元新潟から山口素弘、野澤洋輔、そして藤田俊哉(磐田)、中山雅史(磐田)、三浦知良(神戸)といったベテラン選手も上位にランクされている。監督では、J-EASTがアルビレックス新潟の反町康治監督、J-WESTはオールスターで過去5回監督を務めた実績を持つガンバ大阪の西野朗監督が最多の得票数となっている。

オールスターの投票は6月5日が締め切り。7月3日の本大会に出場する両チームの正式なメンバー発表は6月28日(月)の予定。

J.League Official Sponsors

Calbee

Canon

SUNTORY

JOMO

Nicos

LAWSON

KONAMI

Network Partner

NTT東日本 / NTT西日本

League Cup Sponsor

ヤマザキナビスコ

Jリーグ百年構想

パートナー

朝日新聞

## CONTENTS

開催1ヶ月前で180万票を突破 JOMOオールスター サッカー、サポーター投票…	1
プレシーズンマッチ……………	2
『サッカーの贈り物～素顔のJリーガー』……………	2
<b>TOPICS</b> ジェフユナイテッド市原のチーム名・呼称変更を承認／実行委員・参与選任／神戸ウイングスタジアム、サポーター席を入れ替え／キヤノン、Jリーグエンジ	

ヨイプログラムを開催／「スポーツターフ管理者のための研修会」を後援／「日本クラブユースサッカー東西対抗戦(U-15)メニコンカップ2004」を後援／「第1回JCYインター・シティー・カップ(U-15)、(U-18) in HIDA」を後援／平成16年度「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」に協力……………	3
こうすればかなう!芝生の校庭・園庭～日本芝草学会公開シンポジウム開催……………	4

## イタリア、スペインの強豪がJリーグチームと対戦 プレシーズンマッチ

今季のJ1リーグは6月26日に1stステージが終了し、8月14日に2ndステージが開幕する。この間、日本代表は中国で開催されるアジアカップに出場し、U-23日本代表はアテネ五輪の戦いが始まる。一方、国内では別表のように、海外からの一流クラブチームを迎えたプレシーズンマッチが行われ、ファン・サポーターにとっては楽しみが尽きない。

来日チームは、人気・実力ともに高い、イタリア、スペイン勢が中心となる。

ベガルタ仙台、ヴィッセル神戸が対戦するラツィオ(イタリア)は、今季のセリエA(イタリア1部リーグ)は6位だが、カップでは4度の優勝を遂げている。同じくイタリアからは、インテル・ミラノが来日し、浦和レッズと戦う。セリエAでは4位に入り、来季のUEFAチャンピオンズリーグへの挑戦権を手にした強豪だ。

スペインからは、FCバルセロナ、バレンシアという地中海岸の名門クラブがやってくる。鹿島アントラーズ、ジュビロ磐田と連戦を行うFCバルセロナは、今季のスペインリーグ2位、さらに、アルビレックス新潟、鹿島が迎え撃つバレンシアは、今季のスペインリーグ、UEFA

カップの2冠を獲得した。

南米からはアルゼンチンきての人気チーム、ボカ・ジュニニアーズが来日し、新潟と戦う。昨年12月、横浜で行われたヨーロッパ／サウスアメリカ・カップでの優勝が、記憶に新しい。

韓国からは浦項スティーラーズが来日し、鹿島と戦う。

世界的に注目されるチームが相次いで来日するだけに、対戦するJリーグのチームには結果も期待したい。それがJリーグの実力を国



© J.LEAGUE PHOTOS

昨年のFC東京-レアル戦  
際的にアピールする願ってもない機会となる  
だろう。

### 2004年夏 プレシーズンマッチ開催予定

開催日	キックオフ	対戦カード	試合会場
7月4日 (日)	15:00	鹿島アントラーズ vs 浦項スティーラーズ(韓国)	青森県総合運動公園陸上競技場
7月19日 (月・祝)	16:00	ベガルタ仙台 vs ラツィオ(イタリア)	仙台スタジアム
7月27日 (火)	19:00	浦和レッズ vs インテル・ミラノ(イタリア)	埼玉スタジアム2002
	19:00	アルビレックス新潟 vs ボカ・ジュニニアーズ(アルゼンチン)	新潟スタジアム
	19:00	ヴィッセル神戸 vs ラツィオ(イタリア)	神戸ウイングスタジアム
8月1日 (日)	19:00	鹿島アントラーズ vs FCバルセロナ(スペイン)	国立霞ヶ丘競技場
	19:00	アルビレックス新潟 vs バレンシア(スペイン)	新潟スタジアム
8月4日 (水)	18:30	ジュビロ磐田 vs FCバルセロナ(スペイン)	静岡スタジアム エコパ
	19:00	鹿島アントラーズ vs バレンシア(スペイン)	国立霞ヶ丘競技場
8月5日 (木)	21:00	名古屋グランパスエイト vs レジーナ	名古屋市瑞穂陸上競技場
8月8日 (日)	19:00	横浜F・マリノス vs レジーナ	横浜国際総合競技場
◆海外遠征 浦和レッズ 「Vodafone Cup - The Tournament of Champions」			England: Manchester
8月3日 (火)	18:45	ボカ・ジュニニアーズ vs 浦和レッズ	オールド・トラフォード
8月5日 (木)	21:00	マンチェスター・ユナイテッド vs 浦和レッズ	
◆海外遠征 FC東京 スペイン遠征(期間:7月26日~8月10日帰国予定)			ガリシア州 ラ・コルーニャ市
7月30,31日 or 8月1日	未定	デポルティボ・ラ・コルーニャ vs FC東京	未定

## 『サッカーの贈り物～素顔のJリーガー～』

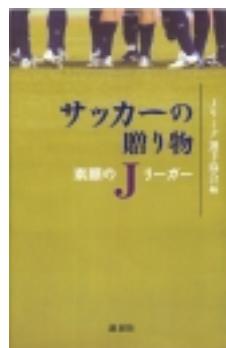
2003年にJリーグは選手の社会貢献を義務化し、現在までに1000件を超える活動が展開している。それらの活動をまとめた『サッカーの贈り物』(編:Jリーグ選手協会)が6月下旬、論創社から発行される。

登場するのは、国内外での豊富な経験を持つ三浦知良をはじめ、森岡隆三、高木義成、岡山一成など、対談も含めて十数人。

「プロのサッカー選手として子供たちに夢を与える」「地域の人たちに恩返しがしたい」—そういった高いプロ意識から社会貢献活動を始めた選手たちだが、さまざまな人たちと交流を深める中で、選手自ら多くの人が勇気や感動を与えられ、サッカーをしている喜びや意義、感謝する気持ち

をあらためて認識する。時には「偽善」「自己満足」と自問しながらも、「偽善から始まる本物もある」(岡山一成)、「行動しないで批判だけしている人よりも、まず行動を起こす人を見習おう」(佐藤寿人)と、自分なりの考えを見出したり、さまざまな人たちと接する中で、選手自ら多くのことに気付き、学び、成長している姿が印象的だ。また、気負わず等身大の姿で取り組んでいる様子も、若者らしいすがすがしさを感じる。

“サッカーは、選手にも私たちにもたくさんの感動やエネルギー、幸せを与えてくれる”—そんなことを実感できる内容だ。選手の気取りのない優しさも垣間見え、ファンには必見といえるものだが、まずは若い選手に読んでほしい一冊もある。



### ■タイトル:

『サッカーの贈り物～素顔のJリーガー～』

■編:Jリーグ選手協会

■発行:論創社

### ■協力:

Jリーグ、Jクラブ、JPFAサッカースクール  
協賛各社 ほか

■定価:1050円

■発売:6月下旬

## ジェフユナイテッド市原のチーム名・呼称変更を承認

Jリーグは5月18日の理事会でジェフユナイテッド市原のチーム名、呼称変更について審議し、これまでの「ジェフユナイテッド市原」から、チーム名を「ジェフユナイテッド市原・千葉」に、呼称を「ジェフユナイテッド千葉」に変更することを承認した。

ジェフユナイテッド市原は、2003年3月にホームタウンを広域化し、市原市ならびに千葉市を拠点に活動しており、来夏には千葉市に新スタジアムも完成する。新しいチーム名・呼称は、2005年シーズン(2005年2月1日)から使用される。

### ■ チーム名・呼称名変更

	変更前	変更後
チーム名	ジェフユナイテッド市原	ジェフユナイテッド市原・千葉
呼称	ジェフユナイテッド市原	ジェフユナイテッド千葉

### ■ 名称の使用

2005年2月1日より使用

## 実行委員・参与選任

Jリーグは5月18日に開催した理事会で、ジェフユナイテッド市原、セレッソ大阪、ベガルタ仙台、湘南ベルマーレの4クラブの実行委員の変更を承認した。市原の実行委員が、岡健太郎氏(（株）東日本ジェイアール古河サッカークラブ名誉顧問)から淀川隆博氏(同代表取締役社長)に、C大阪が藤井純一(大阪サッカークラブ(株)前代表取締役社長)から出原弘之氏(同代表取締役社長)に、仙台が本間良一氏(（株）東北ハンドレッド代表取締役専務)から名川良隆氏(同代表取締役社長)に、湘南が小長谷喜久男氏(（株）湘南ベルマーレ前代表取締役社長)から真壁潔氏(同代表取締役)に代わった。なお、この変更に伴い、C大阪と湘南の前実行委員の藤井、小長谷両氏が参与に選任された。

## 神戸ウイングスタジアム、 サポーター席を入れ替え

Jリーグは5月18日の理事会で、ヴィッセル神戸主管試合における神戸ウイングスタ

ジアムのホーム側サポーター席とビジター側サポーター席およびベンチの入れ替えについて審議し、承認した。

①スタジアム北側にある病院への騒音②メイン南側園地にビジター席入場のサポーターの列ができることでホームゲームとして見えにくい③メインスタンドの観客とビジター観客動線が同一となり、観客動線としてふさわしくない④ホーム側サポーター席上部の天井にある防音シートの影響により、応援におけるホームアドバンテージが得られない⑤昼間の屋根閉鎖時にホームサポーター席が暗いといったことが理由で、2004年9月以降開催のJリーグ公式試合から変更する。なお、神戸総合運動公園ユニバー記念競技場は従来通り。

## キヤノン Jリーグ エンジョイプログラムを開催

Jリーグのオフィシャルスポンサーであるキヤノン株式会社とJリーグは5月23日、横浜国際総合競技場で開催されたJ1リーグ戦の横浜 F・マリノス対名古屋グランパスエイト戦に神奈川県下の児童福祉施設の子供たちを招待した。

Jリーグとキヤノン株式会社が協力し社会貢献の一環として行ったもので、昨年11月に続いて2回目。試合観戦のほか、選手との記念撮影やキヤノン製品を使用したデジタルカメラ教室なども行われた。

## 平成16年度「スポーツターフ 管理者のための研修会」を後援

Jリーグは、(財)都市緑化技術開発機構と(株)日本フットボールヴィレッジが主催する「平成16年度『スポーツターフ管理者のための研修会』」を後援する。開催日は6月14～18日、10月18～22日。場所は福島県のJヴィレッジ。

## 「日本クラブユースサッカー東西対抗戦 (U-15)メニコンカップ2004」を後援

Jリーグは、日本クラブユースサッカー連盟と日本サッカー協会、中日新聞社が主催する「日本クラブユースサッカー東西対抗戦U-15)

メニコンカップ2004」を後援する。

この大会は次世代のサッカー界を担う有望選手を一同に集めて行うもので、8月13～22日に福島県・Jヴィレッジで開催される「第19回日本クラブユース選手権(U-15)」出場チームの中から優秀選手20人、地元枠として東海地区のクラブチームから最大2人を選び、所属クラブ所在地によって選手を東西に分けて出場チームを編成する。Jリーグの選手では、阿部勇樹(ジェフユナイテッド市原)、石川直宏(FC東京)、菊地直哉(ジュビロ磐田)の3選手が同大会の出身。

10回目を迎える今回は9月12日(日)、名古屋市の瑞穂球技場で開催される。キックオフは13:00。

## 「第1回JCYインター・シティー・カップ(U-15)、(U-18) in HIDA」を後援

Jリーグは、日本クラブユースサッカー連盟とJCYインター・シティー・カップ大会実行委員会が主催する「第1回JCYインター・シティー・カップ(U-15)、(U-18)」を後援する。

同大会は「中日クラブユースサッカー選手権」として行われてきたものをさらに発展、充実させるため新たに開催される。U-15は2004年8月7～10日の期間、北信越3・東海5・関西7・中国1チームの計16チームで対戦し、U-18は8月11日～14日の期間、全国から募集した16チームが対戦する。開催場所は、岐阜県飛騨市(古川町ふれあい広場、杉崎公園、流葉)。

## 平成16年度「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」に協力

Jリーグは昨年に引き続き、警察庁が主催する平成16年度「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」に協力する。

同活動期間は7月1日～31日の1カ月間で、Jリーグはこの間に開催されるJ1リーグ、J2リーグ戦、ヤマザキナビスコカップの試合会場で場内アナウンスや電光掲示板等を通じて告知活動に協力する。

# 「こうすればかなう！芝生の校庭・園庭」

## 日本芝草学会公開シンポジウム開催

日本芝草学会2004年度春季大会運営委員会が主催する公開シンポジウム「こうすればかなう！芝生の校庭・園庭」が6月6日、神奈川県藤沢市の日本大学生物資源科学部で開催された。

はじめに、東京農業大学地域環境科学部教授の近藤三雄氏が「21世紀はスクールターフの時代」と題した基調講演を行い、熱環境の改善、飛砂の防止、ぬかるみ化の防止、心理・生理的効果、運動意欲の増進、ケガの防止といった芝生の効果や新しい芝生化計画について講演した。その後、校庭を芝生にしている横浜市立高田東小学校、東京・杉並区立和泉小学校、川崎市立金程小学校の児童・卒業生らが体験談や研究発表などを行った。



© J.LEAGUE PHOTOS

高田東小学校は、横浜市の2003年度校庭芝生化事業の対象となった1校。和泉小学校も杉並区の研究奨励校として2002年に校庭を全面、芝生にした小学校だ。両校の児童とともに、「転んでも痛くない、ケガをしない」「思い切り遊べる」「寝転がれる、裸足になれる」「裸足で走ると靴をはいているより速くなったような気がする」「気持ちいい」「トンボやたくさんの鳥が来るようになり、自然が豊かになった」「芝生で遊ぶと気分がすっきりする」など、芝生にして良かったことや、「愛情を込めて世話をすると芝生と友達になる」「芝生は線が引けないので、

ロープを引いたりして工夫して使っている」といった芝生とのかかわり方などを発表した。

金程小学校の卒業生は、5~6年生の時に総合学習で行った研究結果を披露。同校は、前出2校と異なり、1人の男子児童の提案がきっかけで始まった活動で、インターネットなどを通じて、神戸のNPO法人「芝生スピリット」や当シンポジウム運営委員で芝生応援団グラスルーターの長倉亮一氏、横浜のスポーツクラブや川崎市青年会議所、造園関連の企業などさまざまな人たちの協力を得ながら芝生の試験栽培に取り組んだ。Jターフ、ケンタッキーニューブルーグラス、ひめの、ティフトン419など9種類もの芝生を研究する一方、芝生にかかる費用の算出や資金の集め方などしっかりした案や子供らしい発案もあり、会場を沸かせた。子供たちの努力が実り、今年から60m<sup>2</sup>の試験場を川崎市が100m<sup>2</sup>に拡張工事をしてくれることになった。発表をした卒業生らは、「芝生化をあきらめないで」と後輩たちにメッセージを送った。

また、日本サッカー協会の川淵三郎キャプテンから「芝生は、本気でほしいと思い、その情熱がないと維持管理は続かない。今日ここに集まっている人は熱意のある人たちで、皆さんの情熱がいろいろなところに通じ、芝生の広場を広げていく。日本中の学校に何千という芝生のグラウンドが広がる、そのきっかけがこのシンポジウムである」とビデオメッセージが贈られた。Jリーグの佐々木一樹事務局長は「Jリーグも“百年構想”を合言葉に多くの人々がスポーツを楽しめる環境づくりをしている。Jリーグと



© J.LEAGUE PHOTOS

シンポジウムにはJリーグ百年構想のキャラクター、Mr.ピッチと湘南ベルマーレのキングペル一世も駆けつけた。右は佐々木一樹Jリーグ事務局長

しても、各クラブや自治体とも協力しながら、皆さんの活動を応援したい」と話した。

その後、千葉県・平賀小学校元校長の佐藤光利氏が学校の校庭を芝生化した後の問題点などを指摘し、使用目的や使用する児童数・使用時間・芝生化面積の調査の必要性、研修や指導、維持管理の効率化や予算、審議会や検討会の場の設置といった点についての具体案を発表した。

東洋グリーン(株)の竹間肇氏は「校庭の芝生化と基本設計」、日本芝草管理技術者会会長の大和田勝弘氏が「芝生の維持管理－日々の観察とおもいやり」と題した講演を行った。

このシンポジウムは一般の人たちを対象に開催されたもので、長倉亮一氏(前出)は「校庭の芝生を管理するのはプロではなく、先生や児童、PTAの人たち。だから芝生の維持管理のノウハウをもっと一般の人たちに広め、関心をもってもらわなくては」と話していた。

この日は、激しい雨にもかかわらず、有識者、芝生管理関係者に限らず学生や芝生に関心を持つ人など250人が参加した。会場には研究や論文などのパネルも展示され、訪れた人々は熱心に見入っていた。

写真提供：© J.LEAGUE PHOTOS

